

生命科学系3分野支援活動(がん、ゲノム、脳)合同シンポジウム

生命科学・医学の発展を支える研究基盤の未来

モデルケースとしての支援3領域

生命科学・医学の進展に伴い、様々な分野で個別研究の枠に収まらない支援的な活動が研究を支える基盤として重要性を増してきています。このような時代の要請に従い、文部科学省科学研究費補助金で助成されている「新学術領域研究」の中に「生命科学系3分野支援活動(がん、ゲノム、脳)」が設置され、それぞれの支援活動を展開してきました。本シンポジウムでは、この3分野支援活動の概要とその成果の一端を紹介し、研究を支える基盤としての支援活動の今後のあり方を検討するきっかけにしたいと考えております。

プログラム

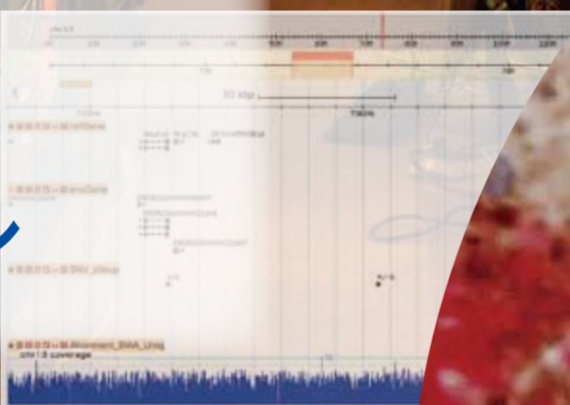
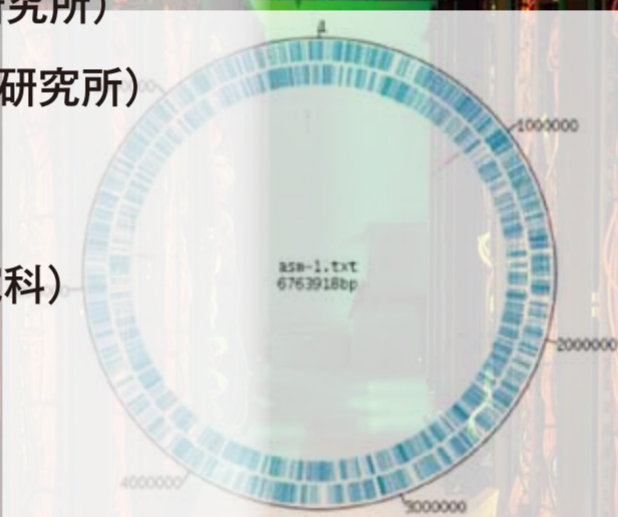
セッション1：支援概要の解説

- がん支援領域 今井 浩三 (東京大学医科学研究所)
- ゲノム支援領域 小原 雄治 (国立遺伝学研究所)
- 脳支援領域 木村 實 (玉川大学脳科学研究所)

セッション2：支援による成果

- 渡邊 俊樹 (東京大学大学院新領域創成科学研究科)
- 大島 正伸 (金沢大学がん進展制御研究所)
- 澤辺 智雄 (北海道大学大学院水産科学研究院)
- 光永 滋樹 (東海大学医学部)
- 木下 専 (名古屋大学大学院理学研究科)
- 奥野 浩行 (東京大学大学院医学系研究科)

セッション3：パネルディスカッション



日時：2012年7月6日(金)

13:00-17:30

会場：東京ステーションコンファレンス 602



主催： 文部科学省科学研究費補助金
新学術領域研究「生命科学系3分野支援活動」

お問合せ：ゲノム支援領域
東京大学大学院新領域創成科学研究科 菅野研究室
TEL: 03-5449-5280 FAX: 03-5449-5416
E-mail: shien-s@hgc.jp